

体育、保健体育

令和5年度 授業改善のポイント




- (1) 児童生徒が課題の発見・解決に主体的に取り組めるよう、学習カードの記述を参考にしたり、児童生徒の声を生かしたりして、児童生徒と共に学習課題やめあてを設定する。
- (2) 児童生徒自身が、ねらいを達成した姿を具体的にイメージできるように、活動内容の見通しをもつ場を設定する。
- (3) 全ての児童生徒が安全に活動に取り組めるよう場の設定を工夫する。活動中に全体で動き等を共有する際は、目的を明確にし、ねらいの達成に迫る効果的な内容にする。
- (4) 終末の場面では、一人一人が変容を実感し、本時のねらいと整合した振り返り活動となるよう、明確な視点を示す。

主体的に活動し、一人一人が変容を実感できる授業展開

【指導事例】

中学校第2学年 単元名「球技」〔バスケットボール〕

本時のねらい チームの課題を解決するための練習方法を選択し、実践することを通して解決につながる動きや出来映えを他者に伝えることができる。

導 入	 <p>前時の振り返りでは、味方同士でパスがスムーズにつながらないという声が多く聞かれました。</p>	ポイント(1)(2) 学習課題(めあて)は、振り返りや児童生徒の声を生かし、解決(達成)可能な課題(めあて)を設定します。また、活動の目的と内容を伝えて本時の見通しをもたせませす。主体的な学習を促す手立てとして、解決方法を選択できる場を設定することも有効です。
	 <p>味方へのパスが相手にカットされる場面が多かったな。</p>  <p>味方からパスをもらえる動きをチームで練習したいな。</p>	
展 開	<p>みんなの声を聞くと、パスをつなぐ動きに課題があるようだね。</p>	ポイント(3) 運動時間や安全に運動に取り組めるスペースを確保するとともに、実態に合ったルールの設定等を行います。
	<p>学習課題の例 チームでパスをつなぐためには、どのような動きをすればよいだろうか。</p> <p>練習方法の例 3対3、ノードリブルゲーム、扇型パスなど</p>	
開	<p>パスには素早い動きと正確な判断が必要だね。ノードリブルゲームで、パスの練習をしよう。</p>	活動中の児童生徒を観察し、見取るグループの順番を決めたり、他者に伝えているアドバイスの内容を聞き取ったりするなど、活動を意図的に見守るように心掛けます。
	<p>私のパスは、いつも相手チームにカットされてしまう。どうすればいいのかな。</p>	
終 末	<p>課題が見えてきているな。解決策をチームで話し合せて、ゲームで動きを確認させてみよう。</p>	技能の出来映えや課題解決につながる動きを伝え合うなど、共有する目的や内容を明確にすることは、ねらいの達成に迫るために大切です。
	<p>活動を止めて、動画を活用してチームで動きを共有する</p>	
終 末	<p>味方の動きも見るといいよ。パスが通りそうな味方やスペースが見付かると思うよ。</p>	ポイント(4) 本時のねらいと振り返り内容の整合を図ります。アドバイスの内容、変化が見えた仲間の動き、できるようになったこと、分かったことなど、一人一人が変容を実感できるように、視点を複数示して振り返る場を設定することも有効です。
	<p>味方の動きを見ていたら、フリーになっている味方が見えてパスができたわ。</p>	
<p>視点①～③から二つの視点を選んで振り返りましょう。</p> <p>①課題を解決するために選択した練習方法は何か。</p> <p>②チーム内でどのような内容のアドバイスを伝え合ったか。</p> <p>③動きや考えにどのような変化があったか。</p>		
<p>(視点②) 動く範囲を広げるといふアドバイスをもらいました。</p> <p>(視点③) 相手の守備を見ながら動く範囲を広げてみたら、味方からパスがもらえるようになりました。</p>		
<p>※自己評価のほか、教師の意図的な指名により児童生徒の振り返りを紹介し価値付けることで、学習意欲の向上を図ります。</p>		